

日高市立図書館 ちゃん通信

2022.11

No.19

11・12月のテーマは…

「ちょっとしかけのある本」

ふつうに読むだけじゃもったいない！
ちょっとした「しかけ」がある本を紹介します。
読み方を変えてみると・・・？



『新しい分かり方』

佐藤雅彦著／中央公論新社／757 冊

メディアの枠を超え、常に新しいコミュニケーションデザインを提案してきた佐藤雅彦が、想像のはるか上に行く「分かる」「伝える」を作品とともに伝える。ページに指を置いたり、作品を体験することもできる1冊。

『僕が愛したすべての君へ』 『君を愛したひとりの僕へ』

乙野四方字著／早川書房／B913.6 冊

「読む順番で結末が変わる作品」としてTikTokなどでも話題になった小説。“平行世界”の存在が証明された世界を舞台にしたSFラブストーリーです。

『VISIONARY 14歳の特別授業』

慶應義塾大学大学院経営管理研究科EMBAプログラム5期VISIONARY製作委員会著／ビークス／304 ビジ

2050年、世界はユートピアか、それともディストピアか。表紙側からはユートピア、裏表紙側からはディストピア、と正反対の未来を読むことができる両開き本。

『Michi みち』

junaída 著／福音館書店／E

ページを左からめくると男の子が、右からめくると女の子が、どこまでも続く真っ白な道を歩きます。2人が不思議な町を旅して本の真ん中で出会う、字のない絵本です。

『光の旅 かげの旅』

アン・ジョナス作／評論社／E2

明け方、車で家を出発。海岸を走り、街について日が沈んだー。終わりまで読んだらさかさまにしてみましょう。今までの風景がガラリと変わります！モノクロの絵が詩情をたたえた1冊。

『N』

道尾秀介著／集英社／913.6 ミ

6つの章から構成されているこの本、1章ごとに上下逆さに印刷されています。しかもどの章から読んでもOK。読む順番によって変わる物語はなんと720通り。何度も読みたくなるエンタメミステリーです。

